



飛躍的に進化を遂げた
WebKIT2で
求荷求車システムは
新たな時代へ

求荷求車情報ネットワーク「WebKIT」はシステムリニューアルを実施し、**「WebKIT2」**として2019年5月13日(月)より供用を開始します

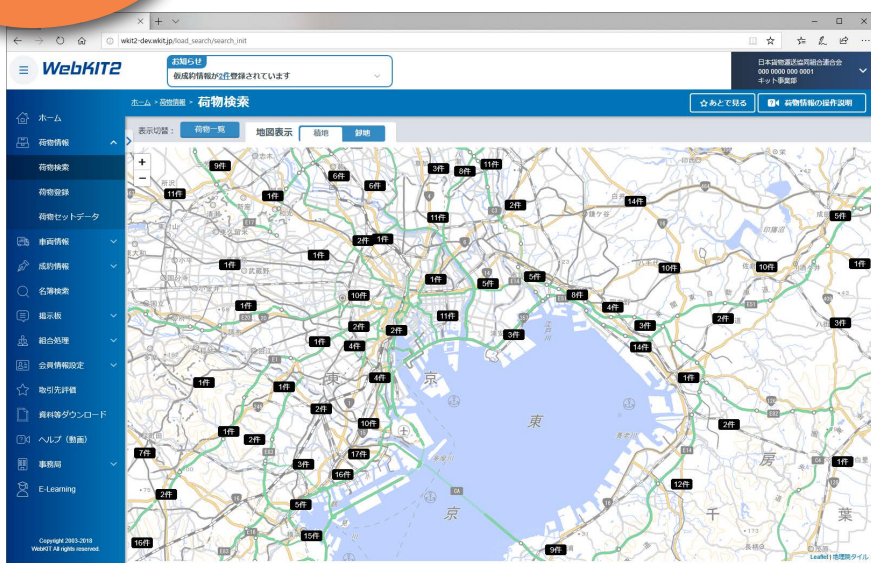
「WebKIT 2」は、より使いやすく、より効率的にマッチング機会を増やすことを重視した求荷求車システムです。「WebKIT 2」では、スマートフォン専用アプリの提供やマッピング地図からの検索、さらに SNS (Line) との連携機能や画像データの活用など、これまで培ったノウハウをもとに最新の IT 技術を活用するシステムに進化します。また、掲載されている情報だけでなく、過去の実績や利用の履歴等のデータを活用することで、情報と情報のマッチングから会員と会員を結びつけるレコメンド機能へ進化を図り、配車担当者間の交渉に大いに活用できる機能も取り入れます。

「WebKIT 2」の様々な機能を活用することで、一段と業務効率並びに輸送効率を高め、ひいてはトラック運送事業者の生産性向上に寄与することが期待されます。

ブラウザ版

← ブラウザ版もアプリ版も
同じIDで両方使えます！(同時は不可) →

アプリ版



*画面は開発中のものであり、予告なしに変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

アプリ版
について

iOS および Android 搭載のスマートフォン及びタブレット端末で利用することが出来る専用のアプリ版は、iOS は App Store、Android は Google Play からダウンロード及びインストールしていただけます。

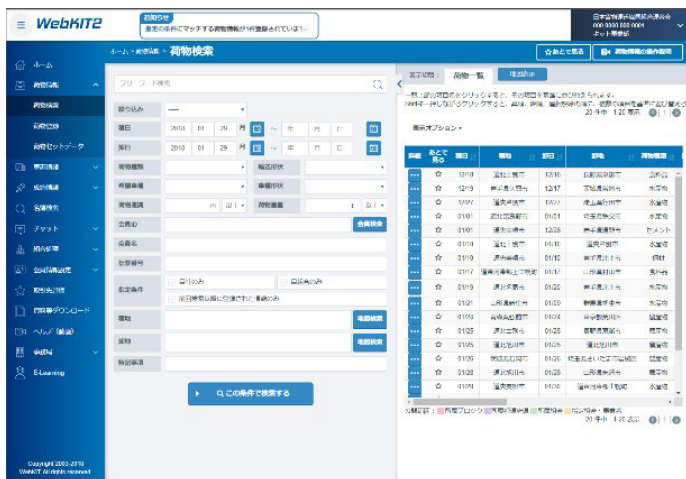


*アプリのダウンロードは5月7日頃を予定しています。

WebKIT2の主な変更点

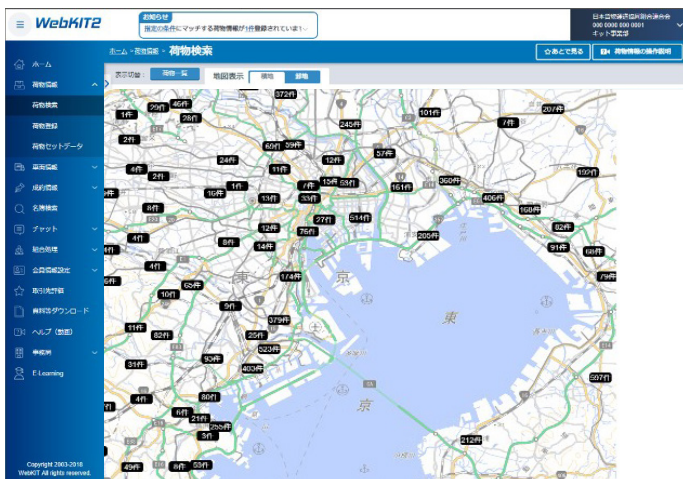
画面レイアウトが進化

メニュー画面とコンテンツ画面を合体させ、メニュー画面を常に左端に表示されるようにします。(サイドカラム) また、最近のディスプレイ画素数の多様化に対応し、画面幅に合わせてレイアウトを伸縮できるリキッドレイアウトを採用します。



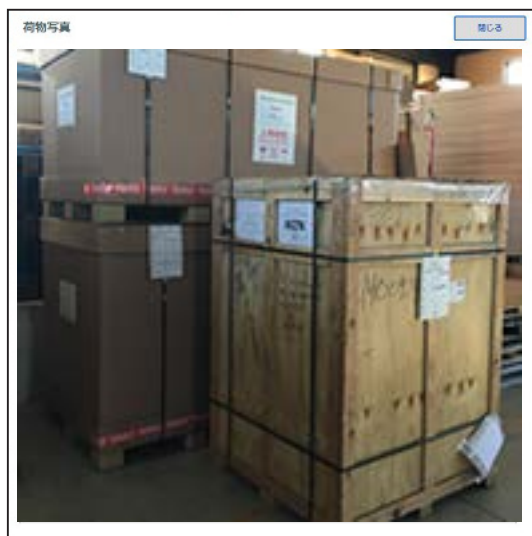
マッピング機能

積卸地をマッピングした地図が検索結果で表示され、都市区分単位で地図上に可視化されるので、精通していない地域でも、より条件の合う情報にアクセスしやすくなります。隣接県の卸地でも中距離輸送となる場合もあり、輸送機会として捉えることが可能となります。



画像データ

荷物や車両の画像データが利用できるので、登録側も閲覧側も荷姿や特殊な車両の形状などを客観的な情報として共有することができ、円滑な取引とトラブル防止など輸送品質の向上に役立ちます。熟練した経験がなく専門用語が分からない事務のスタッフでも配車業務をこなし易くなります。



情報の一括登録

荷物や車両の登録データについて、CSV ファイル形式で一括してインポート又はエクスポートすることができるようになります。多くの情報を扱う場合や、自社の配車システムの情報と連携して利用する場合などに、一括して処理できるため、求荷求車業務にかかる手間と時間を大幅に削減できます。



本件に関するお問い合わせ

日本貨物運送協同組合連合会 KIT 事業部

☎ 03-3357-6068